

クリスマスおめでとう



イタリア・アシジの聖フランシスコ大聖堂前庭の等身大のプレゼピオ

クリスマスが近づくと、世界のあちこちでイエス様ご誕生の場面を聖書に基づいて再現した《プレゼピオ》というもの飾られます。これはイタリア語で《飼い葉桶》を指しますが、日本ではこの飾り物は《馬小屋》と呼ばれたりしています。聖書にはイエス様は「馬小屋」に生まれたとは記されていません。「飼い葉おけに寝かせた」と書かれています。

このイエス様降誕の場面を見えるように表そうとしたのは、13世紀の初めイタリア・アシジの聖フランシスコでした。彼は、字が読めない農夫たちも、神の子イエス様が小さな赤子となってこの世に誕生されたことの神秘を深く味わえるように考えたのです。そこで彼は、グレッチオという山の中の洞窟に農家から本物の家畜を借り

てきて配置し、農夫たちと一緒にクリスマスのミサを捧げて祝いました。

これがイタリア中、そして世界中に広まりました。

本学でもクリスマスが近くなりますと、学内のあちこちに大小さまざまなプレゼピオが飾られます。

プレゼピオは、大体、聖母マリア、聖ヨゼフ、幼児イエス、天使、羊飼い、東方から拝みに来た賢者たち3人などから成っています。大掛かりなものは、その他にありとあらゆる職業の村人たちが配置されたりします。パン屋、釣り人、水汲み女、靴屋、などなど、見ていて楽しくなるプレゼピオがたくさんあります。

クリスマスの時期にヨーロッパ旅行をするのは、楽しみです。



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネ 15章5節)



聖書のことば：

「きょう、ダビデの町に、あなたがたのために、救い主がお生まれになった。このかたこそメシアである。あなたがたは、うぶぎにくるまれて、飼い葉おけに寝ている乳飲み子を見るであろう。これがしるしである。」

(ルカ 2：11-12)

マザー・テレサの祈り

主よ、私たちの目が兄弟姉妹の中に
あなたを見出しますように。

主よ、私たちの耳が苦しむ人々の叫びを聞きとりますように。
飢えと寒さ、恐怖と抑圧にさいなまれる人々の嘆願を。

主よ、私たちの心が互いに愛し合うことを学びますように。
あなたが私たちを愛されたその同じ愛で。



待 降 節 と 降 誕 祭

クリスマスの4つ前の日曜日から、待降節(Advent)という季節に入ります。この季節には、降誕祭を迎えるための霊的な準備と同時に、クリスマスの飾り付けその他の準備に入ります。

Advent Calendarというものを見たことがあるでしょう。降誕祭の絵の中に小さな窓があって、25日まで一つ一つの窓を開けていくものです。学内にもありますので見つけてください。

またAdvent Wreathというものがあり、常緑樹の枝で輪を作り、そこに4本のローソクを立てて、日曜日ごとに1本ずつ点すローソクが増えていきます。それによって、だんだん近づく降誕祭への思いが育てられます。

クリスマス： ミサなど行事のご案内

本学では、毎年クリスマス・ミサを行っています。

- ◇ 北16条キャンパスでは、今までマリア院聖堂で行っていましたが、今年から新しいチャペル「聖マリア聖堂」で行います。それに続いて、「聖マリア聖堂」で聖歌隊とマンドリン部によるクリスマス・ミニコンサートを行い、その後、食堂において執行部担当でクリスマス・パーティを行います。
- ◇ 花川キャンパスでは、チャペルのミサに続いて、食堂でクリスマス・パーティを行います。
- ◇ 日時：

花 川	12月19日(水)	13:00～
北16条	12月20日(木)	13:00～

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

教皇フランシスコのTwitterから



Pope Francis [@Pontifex](#)

In the eyes of God human life is precious, sacred and inviolable. No one can despise the lives of others or one's own life.

You cannot love only as long as it is "advantageous". Love manifests itself when it goes beyond one's own self-interest, and when it is given without reservation.

Let us ask for the grace to open our eyes and hearts to the poor in order to hear their cry and recognize their needs.

The first step to knowing Jesus Christ is to recognize our own poverty and our need to be saved.

ミサへのお誘い

聖マリア聖堂において、下記の通りマルクス学長司式によるミサを行いますので、どなたでもご参加ください。

日時:12月18日(火) 12:30～13:00
1月24日(木) 12:30～13:00
2月21日(木) 12:30～13:00
3月12日(火) 12:30～13:00

学生・教職員・卒業生の皆さまのご参加をお待ちしております。

札幌マリア院のクリスマス・ミサのお知らせ

札幌マリア院では、下記の通りクリスマスのミサが行われます。どなたでもどうぞ。

12月24日(月) 19:00

